

中学校教育専門委員会 県内先進校視察報告

- 1、日時 平成29年10月6日(金) 9:50~11:30
- 2、視察校 静岡県立清水南高等学校中等部
- 3、日程 9:30 委員到着
9:50~10:40 第2時限 授業見学
10:50~11:20 説明(加藤教頭・齊藤教務主任・鈴木研修主任同席)
11:25 終了
- 4、参加者 吉田会長、野村・能勢・築地・望月・天野各委員の6名。

【報告】

公開授業は、中1から中3の8教室で公開していただいた。

授業後の研修では、清水南中等部が目指す「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりについて説明をいただいた。これまでの学校教育では、「教えられたことができる」「唯一の正解を求める」「他者と一致団結する」「課題を解決する」ことが求められた。しかし、社会の変化に伴い、「自分の頭で考える」「正解をつくる」「他者と多様な価値観を共有する」「未知の問題を発見・解決する」など、求められることが変化してきた。これらの要請には、従来行われてきた教師主導の講義では十分に応えることができない。そこで、生徒が主となり、教師が支援する形態の授業づくりを進めるため、「生徒の思考と対話を促す指導と支援の工夫」をテーマに研修を行っているとのことである。

なお、上記のテーマを具現化のため以下の①から③を具体的な手だてを講じている。

①授業公開週間

(ア) ちょっと見週間(年2回。5月・10月の各3日間)

・できるだけ普段の授業を見せる(テスト返しでも可)。
・どの授業も参観可。
・他教科の参観も可。
・授業に対するコメントはしなくても可。
・ちょっと見週間中に最低1回は他の人の授業を参観する。

(イ) ちゃんと見週間(年2回。6月・11月の各5日間)

・研修テーマ等に添った授業を見せる。
・公開された授業のみ参観可。
・授業を実施する日時、テーマを達成するための手だてを事前に告示する(「楽」案を作成する)。

(ウ) ちゃんと見+ (年1回。6月のちゃんと見週間中)

・中心授業を設定する。
・中心授業を行った日の放課後、事後研修を行う。

②授業リサーチ (年2回。7月・11月)

・生徒が授業評価を行う。

③授業研修 (4・5・6・8・10・11月)

テーマを具現化するための手だてを伺えたことは、大変参考になった。

文責：常葉大学附属橘高等学校 天野晃一郎